

# 生徒指導 ～生活アンケート(生徒)より～

公表資料

## 評価の方法とその基準

- ・ 選択肢は「4:できている」「3:だいたいできている」「2:できていないことが多い」「1:できていない」の4つとした。
- ・ ①②③④については、「4:できている」と回答した生徒の%をもとに、以下のように評価した。  
80%以上→A 60%以上→B 45%以上→C 45%未満→D
- ・ ⑤については、「1:できていない」「2:できていないことが多い」と回答した生徒の%をもとに、以下のように評価した。  
5%以下→A 10%以下→B 20%以下→C 20%以上→D
- ・ 評価がBCDの場合は、取組の検討・改善を行う。

### ①近所の人への挨拶

質問項目とその結果・評価[教務主任]	分析[生徒指導主事]	改善策・計画など[生徒指導主事]
「近所の人に会った時はあいさつしていますか」 全校 52% → 評価C [50%→評価C] 1年生 59% [R3 1年前期 50%] 2年生 50% [R3 1年後期 53% より 3% ↓] 3年生 49% [R3 2年後期 44% より 5% ↑]	3年生では5ポイントの上昇、1年生も昨年度を9ポイント上回る結果となっている。地域の見守り隊や、交通指導・挨拶運動のPTAの方々から日々声をかけてくださっている成果だと思う。	引き続き、あいさつの重要性を折に触れて説き、教師自らがさわやかに挨拶をしながら指導を続ける。見る観るカードも活用して保護者や地域の方から褒めていただいたことなども紹介していく。

### ②先生や大人に対しての敬語

質問項目とその結果・評価[教務主任]	分析[生徒指導主事]	改善策・計画など[生徒指導主事]
「先生方などの大人に対して、敬語を使っていますか」 全校 66% → 評価B [62%→評価B] 1年生 69% [R3 1年前期 65%] 2年生 72% [R3 1年後期 68% より 4% ↑] 3年生 60% [R3 2年後期 60% より 0% →]	1年生は小学校の流れを引きずらないようにしようと努力している。3年生の一部で授業中も正しい言葉づかいをすることが難しい場面が見られる。	日常生活での指導とともに、授業中も発表の模範を示し、正しい敬語を学ぶ場とする。3年は面接指導と、12年は外部講師招聘と絡めて、重点的に指導する。

### ③チャイム前着席

質問項目とその結果・評価[教務主任]	分析[生徒指導主事]	改善策・計画など[生徒指導主事]
「チャイム前着席はできていますか」 全校 64% → 評価B [74%→評価B] 1年生 69% [R3 1年前期 61%] 2年生 52% [R3 1年後期 66% より 14% ↓] 3年生 70% [R3 2年後期 77% より 7% ↓]	数値としては昨年度より下がっているが、授業者である教師の印象としてはさほどではなく、特に2年生の基準がやや厳しめで回答したものと思われる。	生活委員会の「マイスター」の取組等を通して、できなかったところだけでなく、できたところを認めて褒めるようにする。また、授業者としては、「チャイムスタート・終了」を意識していく。

### ④朝学習(読書)

質問項目とその結果・評価[教務主任]	分析[生徒指導主事]	改善策・計画など[生徒指導主事]
「朝学習(読書)は静かにできていますか」 全校 80% → 評価A [80%→評価A] 1年生 93% [R3 1年前期 76%] 2年生 72% [R3 1年後期 82% より 10% ↓] 3年生 77% [R3 2年後期 84% より 7% ↓]	2・3年生で10ポイント以上の低下が見られる。大半の生徒は余裕を持って登校し、朝読書に取り組むことができているが、一部生徒は05運動ができず、結果として準備が遅れ、騒がしさを生じてしまう。	余裕を持って登校できるように全校や学年、個別に指導していく。なかなか改善されない生徒には家庭連絡して協力を得る。

### ⑤忘れ物

質問項目とその結果・評価[教務主任]	分析[生徒指導主事]	改善策・計画など[生徒指導主事]
「忘れ物をせずに授業に参加できていますか」 ※「できていない」「できていないことが多い」の回答 全校 7% → 評価B [3%→評価A] 1年生 6% [R3 1年前期 6%] 2年生 11% [R3 1年後期 4% より 7% ↓] 3年生 5% [R3 2年後期 5% より 0% →]	全体的に忘れ物をせずに参加できていると感じている生徒がほとんどであり、意識の高さがうかがえる。2年生で昨年度よりやや低下が見られた。	継続してCLの取り組みを行うとともに、「ひかりの」の活用を促していく。特に2年生で漏れがないように声かけをおこなっていく。

## ◆学校関係者評価委員からのご意見

・これまでの挨拶運動では、自分から生徒達に積極的に挨拶をしていた。今後は、時には「待ちの姿勢」で挨拶運動に臨み、生徒達からの自然な挨拶を待ってみます。

・朝から、元気に挨拶ができる子ばかりとは限らない。挨拶をしたくても、できない子もいることを先生達に知ってもらいたい。